平成２２年度　第２回社会教育委員会議図書館運営部会会議録（要約）

１　日　時　平成２２年１１月４日（木）午後１２時４０分から午後５時

２　場　所　・生駒市内図書館視察
　　・生駒市図書会館　２階　実習室

３　出席者
（委　員）松田部会長・池田健二委員・奥田佳穂里委員・幸元淳子委員・樋口幸雄委員・平井冨久子委員・宮下育代委員
（事務局）生田図書会館長･向田副会館長･西野生涯学習課長･上田生涯学習係長

案件１
生駒市内図書館視察
生駒市図書館南分館、北分館、鹿ノ台地区公民館図書室、中央公民館図書室、本館

〇南分館質疑応答
［問］書架から手にとった本を、利用者はきちんと元の場所に戻されているか。
［答］戻されない場合もある。毎朝開館時間まで書架整理を行なっているが、１日ではすべてできないので、分野を決めて順次整理。定位置にないと利用者からの求めに応じてその本を探すことができないので。

［問］特集コーナーを設けているが、一般書の特集コーナーの期間は。
［答］図書館だよりで特集している本は全館統一で３ヶ月単位。南分館のみの展示は１～２ケ月単位。利用者が普段手に取らない分野などにも関心を持ってもらい、利用につなげるために特集コーナーを設けている。

［問］選書はどのように行っているのか。
［答］児童書については５館の職員が月１回集まって選書会議を開き決定している。

原則として読んで決めている。成人書については週１回各館において利用状況を念頭において選書している。

［問］市内５館で同じような本が揃っているのか、それとも分担収集をしているのか。

［答］どの館も利用者が求める本は重複するところであり、予約が多い本は全館で購入しているが、予算を有効活用するためにも収集は考慮している。本館は専門書や郷土資料、北分館はパソコンコーナーに力を入れるなど。また、蔵書にない本に要望があって購入するリクエストは主に本館が担当。

［問］書庫の本を開架に出すことはないのか。

［答］季節感のある本（クリスマス、年賀、自由研究など）は時期により入替え、特集コーナー設置時にも利用。児童書については、開架の本が破損した場合に書庫の複本を開架に入替え、希望の本が貸出中の際にも閉架の本を貸出しできる。蔵書検索をして書庫の本の貸出を望まれる利用者も多い。

○北分館質疑応答

［問］メディアブースの利用は多いか。

［答］子どもさんを中心に夏休みには利用が増える。

［問］東京大学出版会と提携している電子図書の利用は多いか。

［答］利用はほとんどない。

［問］電子図書の新しいタイトルは増えるのか。

［答］２年に１回程度と新しいタイトルはほとんど増えない。

［問］雑誌のタイトルが減っているようだが、大切な情報源ではないのか。

［答］社会情勢上、資料費削減の影響でやむを得ない。図書の削減額を押さえるため雑誌を削減せざるを得なかった。欠けたジャンルは、なるべく図書でカバーするようにしている。

［問］雑誌のタイトルを減らす基準は何か。

［答］利用頻度だけで計るわけではないが、削減対象の理由のひとつとして挙げざるを得ない。利用者からはご要望もいただいていて苦慮している。

［問］閲覧席が混みあうようなら、時間制限（２時間等）をしたらどうか。

［答］閲覧席については利用者からいろいろなご意見をいただいている。中には細かいルールを設けることを提案されているものもあるが、ルールを細かくすればするほど、ルールにしばられて臨機応変な運用が難しくなり、かえって利用者の利益にならないばかりか、事務量も増えてしまう。また、逆の要望をされる利用者もいて調整が必要とされる。

［問］閉架書庫の電動書架は照明と連動させると節電になると思うが。

［答］そのような書架を入れている館もあるが、連動している電動書架は価格が高くなる。

［問］除籍本が沢山出ると思うが、古本まつりには出さないのか。

［答］古本まつりは、本と人とを繋ぐ催しのひとつとして行っている。出品される本は利用者の持ち込み。図書館への寄贈本で受入しなかったものを出すこともあるが、除籍本は古本まつりではなく、常設のリサイクルコーナーに出しており、こちらも好評である。

○鹿ノ台地区公民館図書室

［問］児童書の収集に力を入れているのはなぜか。

［答］すぐ近くに鹿ノ台小学校・中学校があり、学校との連携が深く、子どもたちの来館も多いため力を入れている。

［問］ゴルフの雑誌は、鹿ノ台以外の館も置いているのか。

［答］誌名は異なるが置いている。雑誌はできるだけ重複しないように収集し、他館にしかない雑誌は、予約をかけて取り寄せる。

［問］ヘラルド朝日、英字新聞を置いているのは、珍しい。

［答］この近くには、奈良先端大学があり、外国人の方も多く来られるため置いている。よく読まれている。

［問］予約の本は、郵送で送っているのか。

［答］シルバー人材センターに委託して、日に一回市内５館を巡回する連絡便で、返却本とともに送っている。

［問］パソコンの本が充実しているように見受けられるが、ここが一番パソコンの本の冊数が多いのか。

［答］ここは少ないほう。パソコン関連は、北分館が一番充実している。

［問］司書は２人だけしかいないが、書庫の本はすべて選んで入れているのか。

［答］図書室関連の業務は、司書２人で話し合って決めている。鹿ノ台は事務所に職員が４人しかいないので、図書室業務以外にも公民館業務もしなければならないので、忙しい。

［問］本には透明のフィルムがかかっているが、かけるのは大変だろう。

［答］基本的に、注文した本はバーコード・背ラベルを貼り、透明フィルムをかけた状態で納品される。寄贈本などは、自分の館でフィルムを貼ることもあるが、慣れないとやはり空気が入ったりして失敗する。

［問］フィルムをかけると、やはり強いか。

［答］ちょっとした汚れや水濡れなどは、防ぐことができる。また、破れにくくもなるので、多くの人達が使うのには向いている。

［問］新聞をどの館でも１年間保存しているが、どこか１館で保存し、取り寄せるようにはできないのか。

［答］この期間あたりの、この記事が載っているものという尋ね方をされることも多いので、「この日の新聞」として特定しにくく、難しいかもしれない。

［問］古い新聞は、利用があるのか。

［答］よく利用される。

［委員］それなら、全館にあっても仕方がない。

［問］新聞をフィルム化したりする予定はないのか。

［答］今のところない

［委員］便利だが、予算がかかるから難しいだろう。

［問］雑誌の付録を保存してあるが、付録は必要ないのでは。

［問］古くなった雑誌はリサイクルコーナーに出して、市民に還元している。雑誌についていた付録も、いっしょに還元するようにしている。

○中央公民館図書室

［問］図書の分類については、何か決まったものがあって、置き場所が決まるのか。

［答］日本十進分類法に依る。

［問］どこの図書館でもその分類法を使用しているのか。

［答］国立国会図書館など館種によっては違うものを使用しているが、公共図書館はほとんどが十進分類法に基づいており、そこにその館独自の分類を加えている。

［問］他館にはあすなろコーナーはあったが、ここにもあるのか。どこにあるのか

［答］児童の読み物の続きにある。

［問］全蔵書数と児童書の蔵書数は。

［答］全蔵書は約５万冊。うち児童書は約１万９千冊

○本館

［問］案内図を作成配布しているが、分類番号で表示されていてわかりにくいし、もったいないのでは。

［答］利用者用端末の所に置いて自由に取ってもらうようにしている。端末で検索して書架に行かれる利用者には、この方がわかりやすいようだ。分野名で作成し

たこともあるが、詳細に書くと見にくくなり、大まかであると役立ち難かった。

［委員］児童コーナーは、天井から分野やコーナー名を書いた案内版が下がっていてわかりやすい。成人コーナーは書架が高く吊る余地はないが。

［問］本館は書架が多く、死角も多い。本の盗難はどうか。

［答］ここ数年は減少した。高価な本には蔵書印を押印、貸出前の本を入れる透明バッグ作製、盗難が続いた雑誌やシリーズはカウンターや閉架書庫で管理したりと工夫。警備員の巡回はしているが、防犯カメラはプライバシーの観点から設置していない。

［委員意見］

・最後にできた北分館は、本館・中公に比べて、天井も高くスペースに余裕があり、ゆったり座れてくつろげる。だが、席が足りないなら、スペース縮小となっても席を増やすことも考慮しては。

・過去の新聞の要望は多いとは聞いたが、手間・スペースを考えて、やはり本館のみの保存で良いのでは。

・館ごとに特色ある分担収集をもっと考えても良いのでは。

・５館とも複合館。単独館があっても良いのでは。

案件２

平成２３年度社会教育基本方針及び重点目標（案）

・ 事務局から案の説明（別紙１参照）

・ 意見を１２月３日までに事務局に送付

・ 最終案を作成して委員に送付して、次回の全体会議で諮る。

○次回、全大会議は２月～３月を予定